

令和8年度事業計画

1 はじめに

少子高齢化の進行により、高齢者人口が総人口に占める割合は年々増加しており、今後もこの傾向は継続すると見込まれています。超高齢社会の中で、高年齢者が健康状態や生活状況に応じて、無理のない形で働き続け、社会参加を通じて生きがいを見出すことは、本人のみならず地域社会全体の活力維持にとっても重要な要素となっています。

さらに、近年では高年齢者の就業意欲は高く、高年齢者の経験や技能を地域のニーズに結びつける仕組みとして、シルバー人材センターの役割が一層高まっています。

また、特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス法）の施行に伴い厚生労働省から示された方針に沿って、新たな契約方法（包括的契約）への移行を進めてきました。一部の移行になじまない業務以外は無事に移行が完了しています。

このような環境の変化に対応し、引き続き「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、会員の増強や多様な就業機会の開拓に取り組みます。安全・安心な就業環境の確保を前提とした就業機会の提供を通じて、高年齢者がいきいきと活躍できる地域社会の実現に向け事業を推進してまいります。

2 センター運営の基本方針

センターの第四次中期基本計画（令和8～12年度）に基づき、目指す姿「いきいき笑顔で活躍し、信頼されるセンターへ」の実現に向けた取り組みを推進します。

（1）センター事業の拡充

就業機会の拡大に向けた取り組みを推進するほか、就業以外にも楽しめる活動を展開するなど、入会の促進、退会の抑制に努め、活力と魅力あるセンターづくりを進めます。

現在、女性会員が増加していることから、女性会員の就業先の開拓や、技能・技術を要する仕事に就ける後継者育成に努めます。また、デジタル化など社会環境の変化に伴う新たなニーズに対応する新分野への就業の開拓も必要です。

（2）より快適なセンター生活の実現

就業情報をより早く適切に会員に周知し、公平・迅速なマッチングに努めます。また、会員の安全就業はセンター運営の基本であることから、事故ゼロを目指し、安全・安心に就業できる環境づくりに取り組みます。

会員が生きがいを持っていきいきと元気に働き活躍できるよう、就業の機会のほか親睦イベントやボランティア活動などを実施します。

（3）センター経営の安定化

「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、会員と連携した円滑な組織運営を推進するとともに、事務経費の節減等に努め持続可能で安定したセンターの経営を目指します。

3 令和8年度の主な取組

(1) センター事業の拡充

ア 会員の増強 重点取組項目①

- ① イベント等での会員募集PR活動の充実・拡大
 - ・公園緑花まつりや公民館まつり等のイベントでのPR活動を積極的に行います。
- ② ホームページ掲載内容の充実
 - ・新たに動画を掲載するなど、新規入会や発注に結び付けるような掲載内容の充実を図ります。
- ③ 会報「シルバーいせはら」によるPR
- ④ 多様な媒体を活用したセンターPR
 - ・広報委員会が発行する会報「シルバーいせはら」、就業・会員拡大委員会が作成する啓発チラシ、市広報、タウン誌等によるセンター事業や会員募集などの積極的な情報発信を行います。
- ⑤ 会員による「一人一会員入会運動」の展開 チャレンジプラン
 - ・会員一人が新入会員一人を獲得する運動を展開し会員の増強に努めます。
- ⑥ 工夫を凝らした入会説明会の開催
 - ・毎月1回の定例の入会説明会のほか、地域に出向いた出張入会説明会を開催します。
- ⑦ 技能・技術を要する仕事に就ける会員の発掘・育成 チャレンジプラン
 - ・植木の剪定や刈払機による除草作業、襖・障子・網戸の張り替え、刃物研ぎなどに就業する会員の発掘・育成に取り組みます。
- ⑧ シルバー会員優待制度の運用
 - ・シルバー会員優待事業所に会員証を提示することで、会員誰もがサービスを受できる制度を運用します。
- ⑨ デジタル化の推進による利便性の向上
 - ・会員専用サイト「Smile to Smile」の利用促進による利便性の向上と事務処理の効率化を図ります。

イ 受注の拡大 重点取組項目②

- ① 企業・事業所への訪問等による就業開拓 チャレンジプラン
 - ・就業・会員拡大委員会と連携した企業や事業所訪問等により新規就業先を開拓します。
- ② 会員の多様な就業希望、資格や技術を活かせる就業先の開拓
 - ・デジタル化など社会環境の変化に伴う新たなニーズに対応する新分野への就業開拓に取り組みます。
- ③ 女性会員が働きやすく活躍できる就業先の開拓 チャレンジプラン
 - ・増加している女性会員が安心して活躍できる就業先の開拓に努めます。
- ④ 会員による「一会員一就業開拓運動」の展開
 - ・会員一人が一つの就業先（仕事）を開拓・獲得する運動を展開します。
- ⑤ コミュニケーション力を高める接遇講習会の開催による接客力の向上
 - ・接客時のコミュニケーションの大切さを学習する接遇講習会を開催します。

- ⑥技術・技能講習会の開催による就業の質の向上
- ・技能・技術後継者の育成や新たな人材発掘を図るための既存会員や一般市民を対象とした技能講習会等を開催します。

【会員及び一般市民対象の講習会等】

◇網戸張り替え講習会 ◇障子の張り替え講習会 ◇植木剪定講習会

【会員対象の講習会等】

◇交通整理員研修会 ◇家事援助講習会

- ⑦ていねいで親切な就業によるリピーターの獲得と就業先の拡大

チャレンジプラン

- ・日頃からていねいで親切な就業を心がけることで、リピーターの獲得や新規の就業先の開拓につなげます。

- ⑧剪定見習い制度の運用による就業者の確保

- ・剪定経験が浅い会員がベテラン会員と一緒に就業し、知識、技術、発注者とのコミュニケーション能力等を習得する制度を運用します。

- ⑨派遣事業の推進強化

- ・派遣事業の周知や受注拡大を図るためPRに努めます。

- ⑩独自事業の充実と新規独自事業の調査・研究

- ・市と連携し実施しているリサイクル家具の販売を行うリサイクルフェアの開催やデジタル関連業務の拡充に取り組みます。

(2) より快適なセンター生活の実現

ア 公平・迅速なマッチングと適正就業の推進

- ①就業マッチングの公平・迅速化 チャレンジプラン

- ②スマイルトゥスマイルを活用したマッチングの推進

- ③ホームページを活用した就業情報の公開

- ・会員専用サイト「スマイルトゥスマイル」やホームページ、事務局窓口で最新就業情報を提供し、会員の就業希望に応じた迅速なマッチングを推進します。

- ④未就業会員への積極的アプローチと就業相談の実施

- ・未就業会員の把握と積極的な声掛けや随時の就業相談を行います。

- ⑤適正就業の推進

- ・請負・委任事業と人材派遣事業、職業紹介事業のいずれに該当するかを整理し、会員の希望に寄り添う就業を推進します。

イ 安全就業の徹底 重点取組項目③

- ①安全だより等による安全意識の向上

- ・安全管理委員会が発行する「安全だより」で、会員自身の安全の確保や日頃の健康管理、周囲への安全配慮の取り組みなどの意識を高めます。

- ②安全・適正就業パトロールの継続的な実施

- ・安全管理委員会と事務局職員が会員の就業先へ出向き就業環境の確認を行う安全パトロールや必要に応じた事業所への改善要請を行います。

- ③安全に就業するために必要な健康診断の推奨

- ・健康で元気に働き続けるため、日頃の健康状態を確認する機会として定期的な健康診断を推奨します。

④安全講習会の開催及び関連事業への参加

- ・安全就業を推進・徹底するための講習会の開催や他団体が実施する関連事業への参加を促進します。

【会員対象の講習会】

◇刈払機安全作業講習会

ウ 親睦・交流活動の活性化

①親睦・交流を深めるさまざまなイベント等の開催

- ・会員活性化委員会による会員相互の親睦を目的とする日帰りバス旅行やその他のイベント等を開催します。
- ・会員活性化委員会が中心となり会員によるフリーマーケット出店や作品展示など地域との交流を深めるとともに、センター活動の紹介による入会促進や受注拡大を図るシルバーフェスタ（仮称）を開催します。

②地域イベントやボランティア活動への積極的な参加

- ・地域イベントへの参加やボランティア活動による地域貢献に積極的に取り組みます。

【イベント参加】

◇公園緑花まつり（リサイクル家具の販売やフリーマーケットなど）

◇サポセンフェスタ ◇公民館まつり

【ボランティア活動】

◇通学児童生徒の見守り ◇道灌まつり歩行者天国清掃

③設立 30 周年記念イベント等の検討

- ・令和 9 年 10 月 1 日に設立 30 年を迎えるにあたり、記念イベント等について検討します。

(3) センター経営管理機能の強化

ア 組織体制の充実強化

①基本理念である「自主・自立、共働・共助」の共有による一体感の醸成

- ・基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、会員が主体となった安定的かつ円滑な組織運営に努めます。

②委員会、地域班等の連携強化による活発な活動展開

- ・会員で構成する安全管理委員会、会員活性化委員会、広報委員会、就業・会員拡大委員会の 4 委員会と 8 つの地域班の連携を図りながら、さまざまな活動を推進します。

イ 財政基盤の安定化

①業務拡大等による自主財源の確保

- ・会員の増強や就業開拓の推進・強化等による受注の拡大に取り組みます。

②デジタル化の推進など事務の効率化による事務経費の節減

- ・限られた財源を有効活用するため事務の合理化・効率化を推進します。

収 支 予 算 書

令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで

(単位：円)

	科目	予算額	前年度当初予算額	増減	
1	I 一般正味財産増減の部				1
2	1. 経常増減の部				2
3	(1) 経常収益				3
4	受託事業収益	74,018,000	78,934,000	△ 4,916,000	4
5	受取配分金	67,275,000	71,000,000	△ 3,725,000	5
6	受取材料費等	865,000	1,750,000	△ 885,000	6
7	受取事務費	5,878,000	6,184,000	△ 306,000	7
8	包括的契約に係る収益	31,430,000	29,790,000	1,640,000	8
9	受取センター業務委託料	25,848,000	25,290,000	558,000	9
10	受取材料費等（包括的契約）	5,582,000	4,500,000	1,082,000	10
11	労働者派遣事業等受託収益	1,008,000	778,000	230,000	11
12	労働者派遣事業等受託収益	1,008,000	778,000	230,000	12
13	受取会費	1,500,000	1,500,000	0	13
14	正会員受取会費	1,500,000	1,500,000	0	14
15	受取補助金等	22,982,000	23,871,000	△ 889,000	15
16	受取連合交付金	10,139,000	11,028,000	△ 889,000	16
17	受取（市）補助金	12,843,000	12,843,000	0	17
18	雑収益	80,000	10,000	70,000	18
19	受取利息	80,000	10,000	70,000	19
20	経常収益計	131,018,000	134,883,000	△ 3,865,000	20
21	(2) 経常費用				21
22	事業費	123,182,000	127,293,000	△ 4,111,000	22
23	支払配分金	67,275,000	71,000,000	△ 3,725,000	23
24	支払材料費等	865,000	1,750,000	△ 885,000	24
25	支払材料費等（包括的契約）	5,582,000	4,500,000	1,082,000	25
26	給料手当	21,725,000	20,075,000	1,650,000	26
27	臨時雇賃金	7,327,000	6,937,000	390,000	27
28	法定福利費	3,701,000	3,450,000	251,000	28
29	退職給付費用	1,256,000	1,199,000	57,000	29
30	福利厚生費	39,000	39,000	0	30
31	会議費	3,000	3,000	0	31
32	旅費交通費	12,000	14,000	△ 2,000	32
33	通信運搬費	878,000	946,000	△ 68,000	33
34	消耗品費	467,000	380,000	87,000	34
35	修繕費	170,000	100,000	70,000	35
36	印刷製本費	319,000	312,000	7,000	36
37	光熱水料	407,000	431,000	△ 24,000	37
38	賃借料	3,383,000	2,862,000	521,000	38
39	保険料	3,389,000	3,251,000	138,000	39
40	諸謝金	249,000	249,000	0	40
41	租税公課	3,258,000	6,607,000	△ 3,349,000	41
42	組織活動助成費	455,000	455,000	0	42
43	委託費	2,257,000	2,573,000	△ 316,000	43
44	教材費	38,000	28,000	10,000	44
45	支払手数料	117,000	122,000	△ 5,000	45
46	雑費	10,000	10,000	0	46

収 支 予 算 書

令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで

(単位：円)

	科目	予算額	前年度当初予算額	増減	
47	管理費	7,836,000	7,590,000	246,000	47
48	役員報酬	540,000	540,000	0	48
49	給料手当	4,375,000	4,132,000	243,000	49
50	法定福利費	699,000	688,000	11,000	50
51	福利厚生費	13,000	13,000	0	51
52	会議費	3,000	10,000	△ 7,000	52
53	役員等旅費交通費	6,000	6,000	0	53
54	旅費交通費	9,000	9,000	0	54
55	通信運搬費	367,000	374,000	△ 7,000	55
56	消耗品費	109,000	138,000	△ 29,000	56
57	修繕費	90,000	90,000	0	57
58	印刷製本費	373,000	364,000	9,000	58
59	光熱水料	12,000	12,000	0	59
60	賃借料	353,000	296,000	57,000	60
61	保険料	210,000	197,000	13,000	61
62	租税公課	24,000	24,000	0	62
63	支払負担金	237,000	235,000	2,000	63
64	委託費	380,000	426,000	△ 46,000	64
65	支払手数料	8,000	8,000	0	65
66	雑費	28,000	28,000	0	66
67	経常費用計	131,018,000	134,883,000	△ 3,865,000	67
68	評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	68
69	基本財産評価損益等	0	0	0	69
70	特定資産評価損益等	0	0	0	70
71	投資有価証券評価損益等	0	0	0	71
72	評価損益等計	0	0	0	72
73	当期経常増減額	0	0	0	73
74	2. 経常外増減の部				74
75	(1) 経常外収益				75
76	経常外収益計	0	0	0	76
77	(2) 経常外費用				77
78	固定資産除却損	0	0	0	78
79	経常外費用計	0	0	0	79
80	当期経常外増減額	0	0	0	80
81	当期一般正味財産増減額	0	0	0	81
82	一般正味財産期首残高	50,327,340	50,327,340	0	82
83	一般正味財産期末残高	50,327,340	50,327,340	0	83
84	II 指定正味財産増減の部				84
85	(1) 収益				85
86	収益計	0	0	0	86
87	(2) 費用				87
88	一般正味財産への振替額	0	0	0	88
89	一般正味財産への振替額	0	0	0	89
90	費用計	0	0	0	90
91	当期指定正味財産増減額	0	0	0	91
92	指定正味財産期首残高	0	0	0	92
93	指定正味財産期末残高	0	0	0	93
94	III 正味財産期末残高	50,327,340	50,327,340	0	94

収支予算書内訳表

令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計			小計	法人会計	合計
	シルバー人材センター事業					
	就業機会提供事業	就業機会確保事業	計			
1 I 一般正味財産増減の部						
2 1. 経常増減の部						
3 (1) 経常収益						
4 受託事業収益	68,140,000	4,409,000	72,549,000	72,549,000	1,469,000	74,018,000
5 受取配分金	67,275,000	0	67,275,000	67,275,000	0	67,275,000
6 受取材料費等	865,000	0	865,000	865,000	0	865,000
7 受取事務費	0	4,409,000	4,409,000	4,409,000	1,469,000	5,878,000
8 包括的契約に係る収益	5,582,000	22,126,000	27,708,000	27,708,000	3,722,000	31,430,000
9 受取センター業務委託料	0	22,126,000	22,126,000	22,126,000	3,722,000	25,848,000
10 受取材料費等（包括的契約）	5,582,000	0	5,582,000	5,582,000	0	5,582,000
11 労働者派遣事業等受託収益	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	0	1,008,000
12 労働者派遣事業等受託収益	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	0	1,008,000
13 受取会費	0	750,000	750,000	750,000	750,000	1,500,000
14 正会員受取会費	0	750,000	750,000	750,000	750,000	1,500,000
15 受取補助金等	0	21,167,000	21,167,000	21,167,000	1,815,000	22,982,000
16 受取連合交付金	0	10,139,000	10,139,000	10,139,000	0	10,139,000
17 受取（市）補助金	0	11,028,000	11,028,000	11,028,000	1,815,000	12,843,000
18 雑収益	0	0	0	0	80,000	80,000
19 受取利息	0	0	0	0	80,000	80,000
20 経常収益計	73,722,000	49,460,000	123,182,000	123,182,000	7,836,000	131,018,000
21 (2) 経常費用						
22 事業費	73,722,000	49,460,000	123,182,000	123,182,000	0	123,182,000
23 支払配分金	67,275,000	0	67,275,000	67,275,000	0	67,275,000
24 支払材料費等	865,000	0	865,000	865,000	0	865,000
25 支払材料費等（包括的契約）	5,582,000	0	5,582,000	5,582,000	0	5,582,000
26 給料手当	0	21,725,000	21,725,000	21,725,000	0	21,725,000
27 臨時雇賃金	0	7,327,000	7,327,000	7,327,000	0	7,327,000
28 法定福利費	0	3,701,000	3,701,000	3,701,000	0	3,701,000
29 退職給付費用	0	1,256,000	1,256,000	1,256,000	0	1,256,000
30 福利厚生費	0	39,000	39,000	39,000	0	39,000
31 会議費	0	3,000	3,000	3,000	0	3,000
32 旅費交通費	0	12,000	12,000	12,000	0	12,000
33 通信運搬費	0	878,000	878,000	878,000	0	878,000

収支予算書内訳表

令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで

(単位：円)

	科目	公益目的事業会計			小計	法人会計	合計	
		シルバー人材センター事業						
		就業機会提供事業	就業機会確保事業	計				
34	消耗品費	0	467,000	467,000	467,000	0	467,000	34
35	修繕費	0	170,000	170,000	170,000	0	170,000	35
36	印刷製本費	0	319,000	319,000	319,000	0	319,000	36
37	光熱水料	0	407,000	407,000	407,000	0	407,000	37
38	賃借料	0	3,383,000	3,383,000	3,383,000	0	3,383,000	38
39	保険料	0	3,389,000	3,389,000	3,389,000	0	3,389,000	39
40	諸謝金	0	249,000	249,000	249,000	0	249,000	40
41	租税公課	0	3,258,000	3,258,000	3,258,000	0	3,258,000	41
42	組織活動助成費	0	455,000	455,000	455,000	0	455,000	42
43	委託費	0	2,257,000	2,257,000	2,257,000	0	2,257,000	43
44	教材費	0	38,000	38,000	38,000	0	38,000	44
45	支払手数料	0	117,000	117,000	117,000	0	117,000	45
46	雑費	0	10,000	10,000	10,000	0	10,000	46
47	管理費	0	0	0	0	7,836,000	7,836,000	47
48	役員報酬	0	0	0	0	540,000	540,000	48
49	給料手当	0	0	0	0	4,375,000	4,375,000	49
50	法定福利費	0	0	0	0	699,000	699,000	50
51	福利厚生費	0	0	0	0	13,000	13,000	51
52	会議費	0	0	0	0	3,000	3,000	52
53	役員等旅費交通費	0	0	0	0	6,000	6,000	53
54	旅費交通費	0	0	0	0	9,000	9,000	54
55	通信運搬費	0	0	0	0	367,000	367,000	55
56	消耗品費	0	0	0	0	109,000	109,000	56
57	修繕費	0	0	0	0	90,000	90,000	57
58	印刷製本費	0	0	0	0	373,000	373,000	58
59	光熱水料	0	0	0	0	12,000	12,000	59
60	賃借料	0	0	0	0	353,000	353,000	60
61	保険料	0	0	0	0	210,000	210,000	61
62	租税公課	0	0	0	0	24,000	24,000	62
63	支払負担金	0	0	0	0	237,000	237,000	63
64	委託費	0	0	0	0	380,000	380,000	64
65	支払手数料	0	0	0	0	8,000	8,000	65
66	雑費	0	0	0	0	28,000	28,000	66

収支予算書内訳表

令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計			小計	法人会計	合計	
	シルバー人材センター事業						
	就業機会提供事業	就業機会確保事業	計				
67 経常費用計	73,722,000	49,460,000	123,182,000	123,182,000	7,836,000	131,018,000	67
68 評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	68
69 基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	69
70 特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	70
71 投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	71
72 評価損益等計	0	0	0	0	0	0	72
73 当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	73
74 2. 経常外増減の部							74
75 (1) 経常外収益							75
76 経常外収益計	0	0	0	0	0	0	76
77 (2) 経常外費用							77
78 固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	78
79 経常外費用計	0	0	0	0	0	0	79
80 当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	80
81 他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	81
82 他会計振替額	0	0	0	0	0	0	82
83 当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	83
84 一般正味財産期首残高				△ 100,001	50,427,341	50,327,340	84
85 一般正味財産期末残高				△ 100,001	50,427,341	50,327,340	85
86 II 指定正味財産増減の部							86
87 (1) 収益							87
88 収益計	0	0	0	0	0	0	88
89 (2) 費用							89
90 一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	90
91 一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	91
92 費用計	0	0	0	0	0	0	92
93 当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	93
94 指定正味財産期首残高				0	0	0	94
95 指定正味財産期末残高				0	0	0	95
96 III 正味財産期末残高				△ 100,001	50,427,341	50,327,340	96

令和8年度資金調達及び設備投資の見込み

(1) 資金調達の見込み

令和8年度中における借入の予定なし

(2) 設備投資の見込み

令和8年度中における重要な設備投資の予定なし